第 1 版（2026 年 9 月 15 日作成）

信州大学医学部附属病院　脳神経内科、リウマチ・膠原病内科科に通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「肝移植後遺伝性 ATTR アミロイドーシス患者における脳アミロイド血管症の臨床像の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	肝移植後遺伝性 ATTR アミロイドーシス患者における脳アミロイド血管症の臨床像の検討
所属(診療科等)	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科
研究責任者(職名)	関島 良樹（教授）
研究実施期間	医学部長による許可日～2028 年 5 月 31 日
研究の意義、目的	肝移植後の遺伝性 ATTR（ATTRv）アミロイドーシス患者さんにみられる脳アミロイド血管症（CAA）の症状、画像・脳波所見などを調べ、その臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。今後の早期認識や鑑別診断、長期的な診療・経過観察方法の検討に役立つことが期待されます。
対象となる方	1993 年 1 月 1 日から 2026 年 10 月 31 日までに当院を受診し、*TTR* 遺伝子変異が確認され ATTRv アミロイドーシスと確定診断され、肝移植を受けた方。
利用する診療記録	肝移植に関する情報（施行時期、年齢、経過期間、ドナー種別、移植方法）、*TTR* 遺伝子変異、年齢、性別、合併症、既往歴、使用薬剤、CAA 発症時期・神経症状、頭部画像検査、血液・髄液検査、頭部 MRI、脳波検査等の診療情報など。
研究方法	収集した情報を用いて、肝移植から CAA 診断までの期間、CAA に伴う神経症状、頭部 MRI、脳波所見などを後方視的に検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名（所属・職名）：吉長 恒明（信州大学医学部附属病院 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 助教） 電話：0263-37-2673

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。